



考察

今年度からアンケート依頼をテトルに加えて紙媒体でも配付したところ、回答率が200人→257人（51%→69%）に増加しました。ご協力ありがとうございました。

肯定的な意見の割合を昨年度と比較すると、3項目で上がり、16項目で下がりました。その多くが微増・微減でした。

全体で肯定的な評価が高かったのは「3. 学校はおたよりやホームページで学校の取組を積極的に伝えている。」、「7. 学校は、保護者からの相談・要望等に対して適切に対応している。」、「10. 学校は、防災教育（災害等から命を守る教育）を適切に行っている。」でした。「10. 防災教育」では、6月の公開日に行った引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました。

一方で、肯定的な評価が低かったのは「8. 学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。」、「13. 半田市や学校が、子どもたちの幸せのためにさまざまな教育活動に取り組んでいることを知っている。」でした。今後の課題として取り組んでいきます。

また、「わからない」と回答した割合が15%以上あったのは、「8. いじめ防止」、「12. キャリア教育」、「13. 幸せ教育」でした。半田市や学校での取組が保護者の方に十分伝わるように、ホームページやテトル、お便りでの発信はもちろんのこと、お子さんを通して学校での取組が伝わるよう、引き続き実践してまいります。「13. 幸せ教育」については、「14. 家庭では、「幸せ」について考えたり、お子さんと話し合ったりしている。」が昨年より6.5%増加していました。「幸せ」について話題にさせていただいている家庭が増えていることがわかりました。子どもたちの「幸せ」について、家庭と学校でともに考えていけたらと思います。